

2018
No.90

[2018年8月~11月号]

青山学院大学

<https://www.aoyama.ac.jp/>



AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS



特集

青山学院大学の進路・就職支援

Topics

「The Global Political and Economic Outlook」経済学部国際シンポジウムを開催
カナダ・ヨーク大学の学生が相模原キャンパスを訪問

AGU Lecture

総合文化政策学部 総合文化政策学科「現代演劇の〈現場〉／〈プロジェクト〉としての演劇」

総合文化政策学部 竹内ゼミ

青山学院大学の進路・就職支援

入学と同時に始まる支援プログラムの数々。
学生一人一人が納得できるよう、サポートしています。

本学の進路・就職支援は、1・2年次の早期から3・4年次の就職活動本格時期まで、一貫したサポートを行っています。
年間約500回開講の多彩な支援プログラムや、手厚い個別相談、大規模な合同企業説明会など、数多くの支援行事の中からピックアップしてご紹介します。



本学が実施している「学生意識調査」では、学生たちが「進路・就職活動の成果」に対する高い満足度を得ていることがわかりました。

保証人の方対象説明会

毎年5月末から青山・相模原の両キャンパスにおいて、主に首都圏在住の3年生の保証人の皆さまを対象に就職説明会を開催しています。直近の進路決定率・就職者率のご報告とともに、本学の充実した支援体制についてもご説明しています。



また本説明会は毎年6・7月の週末に大学後援会事業として全国18カ所で開催の「ペアレンツウィークエンド」(地区父母懇談会)でも同様に実施しています。首都圏、地区いずれの会場でも、進路・就職を担当する本学職員が個別相談を行っています。アンケート結果からも「就職に対する不安が軽減された」と好評をいただいております。

なお2017年度卒業生の就職状況データ、説明会当日の内容については、本学ウェブサイトにて公開しています。

■ 進路・就職活動の流れ(2018年度実施予定)

個別相談は随時

※下記の進路・就職支援行事は抜粋です。詳しくは、本学ウェブサイトをご覧ください。



■ 4年間を通して就職活動をバックアップします

新入生オリエンテーション

学生生活を充実させるために、また卒業後の進路について早くから考える機会として、入学直後に学部別の進路・就職オリエンテーションを実施しています。人口減少社会、外国人労働者の増加、IoTやAIのさらなる進歩など、今後目まぐるしく変化する世界に対応していくには、学生時代をどう過ごせば良いのか、卒業後にはどのような仕事を選ぶのか、そんなヒントが満載の講座です。



インターンシップ支援

学生一人一人の「納得のいく進路」を実現するために、低学年時から参加できるインターンシッププログラムを提供しています。プログラムで学生が職業観を育み、社会人・職業人としての資質・素養を体得し、自己の生き方を選択できる知識と能力を身に付けることが期待されます。また、事前のガイダンスやマナー講習など、自信を持ってインターンシップに臨めるようサポートしています。



Uターン&Iターン地方就職支援

地元で就職するUターン就職や、最近では首都圏出身の学生が地方就職を視野に入れるIターン就職が増えつつあります。首都圏にある本学に通いながら、地元就職や地方就職を目指す学生のために、各地方自治体の担当者を招き、必要な情報を早い時期から得られる機会を設けています。それに先立ち、地方就職ガイダンス、厚生労働省のLO活セミナーも学内で実施しています。



多彩な就職支援講座

自己分析、エントリーシート・履歴書、業界研究、個人面接、筆記試験、ビジネスマナーなど、受講すれば確実に就職力がアップする対策講座を用意しています。授業やクラブ活動などで出席できなかった学生のために、同じ講座を何回も繰り返し開催しています。独学では難しいグループ面接やグループディスカッションの講座は、本番さながらに行われる実践的な講座です。



低学年企業見学&ワーク

メーカー、IT、金融など多岐にわたる業界の企業を見学する低学年限定行事。企業内部を見学しながら、社員の方から直接お話を伺い、「働くこと」への興味・関心を高めます。また、見学ののち、「働くこと」に関するグループワークを体験します。学部を超えた学生同士の交流や、社員の方からの貴重なフィードバックもあり、早期からキャリアについて考える一つのきっかけにもなっています。



公務員対策講座

公務員試験対策ガイダンスのほか、官公庁や自治体の採用担当者による学内業務説明会や、合格者報告会、面接対策セミナーなど、公務員を目指す学生のための行事を年間を通じて行っています。また、限られた時間で確実に合格するために、本学学生限定の公務員試験対策講座を専門予備校と提携して開講しています。夏休みや春休みには、無料でお試し受講ができる制度もあります。



就職ガイダンス

3年次の4月と9月に就職ガイダンスを実施。本ガイダンスを受講することで、インターンシップをはじめ、SPIなどのウェブテスト対策など、準備すべき就職活動の全容を理解することができます。9月のガイダンスでは内定者の就職体験談を聴けます。また、本学オリジナルの就活手帳も配布します。



学内企業説明会

毎年企業の広報活動解禁とともに、学内で大規模に開催される学内合同企業説明会は、3月だけで青山・相模原両キャンパス合わせて約1,000社の企業が参加しています。学内で1日に何社もの説明を聞くことができるので、学生には大変好評です。参加企業は採用実績があり、本学の学生の採用意欲が高い企業ばかりで、年間では約1,200社が参加しています。





タイ留学でのフィールドワークが将来を決めました

私は文化・宗教を切り口に、「共生」をテーマに東南アジアについて学びたくて地球社会共生学部の1期生として入学しました。学部での学びは経済学やメディア、空間情報など幅広く、志の高い多彩な学生が集まり日々刺激があります。英語力を高めつつ、タイ語にも挑戦し2年次にはタイに半期留学し、現地フィールドワークのテーマを「住宅」に決めました。モデルルームやタイ・シルクで有名なジム・トンプソンの家などの見学、建築・住宅事情についても調査しました。自分の足で街を歩き、目で見ると……五感をフル稼働させて調査を進めるうちに、住宅の魅力に夢中になりました。帰国後、人が住むことに関連した仕事に就きたいと考えるようになり、住宅業界に絞って就職活動を行いました。入社後も多くのことを“体感”しながら、留学や大学での学びで培った実行力と知識を生かし、いつか海外でも活躍したいです。

梶野 絵美 さん 住宅業界 内々定
地球社会共生学部 地球社会共生学科4年 埼玉・私立淑徳与野高等学校出身

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 3年 | [1月] 企業研究、自己分析、SPI対策 |
| [5月] 進路・就職オリエンテーション参加 | [2月] 説明会・セミナー参加 |
| [6・7月] エントリーシートガイダンス参加 | [3月] 説明会・セミナー参加、面接 |
| [8月] インターンシップ参加 | 4年 |
| [10~12月] インターンシップ参加 | [4月] 面接 |



まずは自分で行動を起こす、それに尽きます

企業や業界について知ることから始めて経済循環の全体像を把握し、志望業界を金融・IT・コンサルタント・マスコミの4つに絞りました。3年次の6月からインターンシップに向けて取り組み、最初は通過が難しかったエントリーシートも、進路・就職課で添削と指導をしていただいていた結果が出始めました。定期的に利用し、具体的なアドバイスをいただき助かりました。最終的に約25社のインターンシップに参加し、早期選考枠で内々定を獲得。就職活動には「早い者勝ち」「OB訪問をした方が良い」といった定石があるのに、それを実行できる学生は少ないようで、もったいないと感じます。就職活動を通して、自分から行動を起こして可能性を生み出すことの大切さを学びました。今後も自ら率先してチャンスをつかみ、何事も諦めずに取り組んでいきたいと思っています。

棚井 龍之介 さん IT業界 内々定
社会情報学部 社会情報学科4年 茨城県立水戸第一高等学校出身

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 3年 | [3月] 早期選考 |
| [4月] 業界分析、企業分析スタート | 4年 |
| [6月] 就活対策講座参加、エントリーシート提出スタート | [4月] 面接 |
| [8月] インターンシップ参加スタート、OB訪問スタート | [6月] 面接 |
| [10月] 志望業界を金融・IT・コンサルタント・マスコミに絞る | |



知識や経験を自信に変え、全力で臨むことができました

まず3年次の6月に、多くの企業・業界を知ろうと合同説明会に参加しました。さまざまな会社、業種の方から話を聞くうちに、住宅や電機、飲料など人々の暮らしを支える身近な製品やサービスに興味を持つようになりました。そこから業種を絞って企業研究を行い、自己分析と照らし合わせて志望する企業を決めました。自己分析は何度も繰り返し行い、自分を客観的に見ていくことを心掛けました。進路・就職センターを初めて利用したのは3年次の1月。就職活動が本格化する前にやるべきこと、これから長期的にやるべきことを相談し、現状に沿った分かりやすいアドバイスをいただきました。不安なときはいつでも駆け込める場所があり、とても心強かったです。大学生活で得た知識や経験をじっくりと自分の中で見つめ直し自信に変え、最後まで全力で就職活動に臨むことができました。

吉見 崇宏 さん 電機業界 内々定
法学部 法学科4年 神奈川県横浜市立金沢高等学校出身

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 3年 | [2月] インターンシップ参加、自己分析 |
| [6月] 合同説明会参加 | [3月] 会社説明会・学内企業説明会参加、早期選考 |
| [9月] インターンシップ選考参加 | 4年 |
| [11月] インターンシップ参加 | [4月] エントリーシート提出、筆記試験、企業研究、面接 |
| [1月] 学内就職ガイダンス参加 | [5・6月] 面接 |



改めて、たくさんの人の支えに気づきました

幅広い業界について知るため、学内企業説明会や企業主催のセミナーに積極的に参加しました。エントリーシートは特定の業界に絞らず、ライフ・ワーク・バランスや、風土に魅力を感じた企業に提出。就活ノートを作り、面接の後は反省点を洗い出して次に生かすよう心掛けていたのですが、2社連続で選考に落ちたときは焦りが出ました。次が第1志望のグループディスカッションだったので、ゼミの教授に不安な気持ちを正直に話し、アドバイスをいただき平常心で臨むことができました。また、面接前は説明会で印象に残った話や今までの反省点をまとめたノートを見直していました。進路・就職センターでは、いつも同じ担当者に相談をお願いし、丁寧なフィードバックもあり心の支えになりました。就職活動を通じ、自分がたくさんの人に支えられていることを改めて感じています。

児玉 佳奈子 さん 金融業界 内々定
経営学部 経営学科4年 神奈川・私立清泉女学院高等学校出身

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|---|------------------------------|
| 1年 | [3月] 学内企業説明会参加、OB・OG訪問 |
| [4月] 進路・就職オリエンテーション参加 | 4年 |
| 3年 | [4月] 企業説明会・セミナー参加、エントリーシート提出 |
| [2月] 就職ガイダンス、エントリーシート・面接・グループディスカッション対策講座参加 | [5月] 面接 |

「The Global Political and Economic Outlook」 経済学部国際シンポジウムを開催

経済学部では、寄附講座を提供いただいている東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社の協賛により、「The Global Political and Economic Outlook」(世界の政治・経済の展望)と題して国際シンポジウムを開催しました。パネリストには、Robert M. Kimmitt (元米国財務副長官)、Enrique V. Iglesias (前米州開発銀行総裁)、Jean-Claude Trichet (前欧州中央銀行総裁)、李國宝 (東亜銀行会長兼CEO)、N. K. Singh (インド財務委員会会長)、内海学 (元大蔵省財務官、青山学院中・高等部第1期生)の各氏をお迎えしました。文字どおりグローバルなパネリストによる講演の後、経済学部の藤村学教授の司会のもと、会場の学生との活発な意見交換が行われました。盛況のうちに終了することができ、ご来場いただいた皆さま、開催に向けご助力いただいた方々に心より御礼申し上げます。

2018年5月24日(木) 青山キャンパス17号館 本多記念国際会議場にて

(経済学部長 中村 まづる 記)



総合文化政策学部 創設10周年を迎えて



2018年4月、青山学院大学総合文化政策学部(総文)は、創設10周年を迎え「総文10周年記念事業」を開催中です。「2008-2018 Past/Next10: 総文の今ここから、これまでの10年を振り返り、これからの10年を考える」「あなたと『総文』をつなぐ特別な1年」をスローガンに、連続トークセッション、学生企画「Be総文コンテスト」、シンポジウム等、1年を通じて各種のイベントを展開します。

既に、杉浦勢之教授による特別トーク「総文の創設をめぐって」(2/26)、井口典夫教授による「クリエイティブ経済と総文の教育」(4/29)、小林康夫特任教授コーディネートによるトークセッションのうち第1回「都市創造のポリティックス: 渋谷・青山 これまでの10年/これからの10年」(4/29)、第2回「<世界>渦となって」(6/23)等のイベントが終了しました。今後のイベント情報も含め、詳しくは「総文10周年特設サイト」をご覧ください。

現役学生、卒業・修了生をはじめ「総文」に関わる(関心のある)多くの皆さまの参加をお待ちしています!

総合文化政策学部10周年 特設サイト

URL <http://10years.sccs.aoyama.ac.jp/>



杉浦勢之教授(特別トークの様子)



第2回トークセッションの様子(左から宮澤淳一教授、Herbeth Lim Fondevilla助教、Iwona Merklejn准教授、Victoria Iosifova Stoilova助教)

カナダ・ヨーク大学の学生が相模原キャンパスを訪問

2018年5月22日(火)、神奈川県相模原市とカナダ・トロント市との友好都市交流事業の一環として、カナダ・ヨーク大学の学生が相模原キャンパスを来訪しました。

本学を訪問した学生、Andrew Christensenさんは3月3日(土)にカナダのトロント大学で実施された「第36回オントリオ州日本語弁論大会」において、「新企会・相模原市賞」を受賞されました。今回の訪問は、Christensenさんが相模原市や相模原キャンパスを訪問し、日本の文化体験や大学生との交流、ホームステイ体験等を通じて、交流を図る目的で行われました。

2016年に本学と大学間連携協定を結んだカナダ・ヨーク大学で学ぶChristensenさんは、相模原キャンパスで、地球社会共生学部の授業やチャットルームに参加したり、学生食堂で本学学生と交流し、親睦を深めました。



チャットルーム参加者と(Christensenさんは後列中央)

国際政治経済学部GSP1期生 修了報告

Global Studies Program(GSP)の1期生が2018年3月卒業を迎え、大沼夏子さんにお話を聞きました。

社会人となっても活かされるGSPでの学び

大沼 夏子さん
外資系 家電メーカー勤務
国際政治経済学部 国際経済学科 2018年3月卒業



メキシコに留学中の大沼さん

政治や経済を学ぶことで世の中での仕組みを理解し、世界中の人と議論してみたいと思い、国際政治経済学部に入りました。GSPを選択したのは、多様な意見交換をし目標であった留学をするためにも英語の基礎を固める必要があったと感じたからです。

1期生として学び始め、英語での専門科目の授業は課題が本当に多く大変でした。し

Global Studies Program(GSP)とは

国際政治経済学部では、2014年度以降の入学生を対象に、2015年度から専門科目を英語で学ぶGSPを開設しました。選択希望者のための限定プログラムで、90を超える英語講義科目が開講され、2016年度以降入学生は卒業要件単位の半分である66単位以上修得が修了要件となっています。

かし、この課題のおかげで在学中のアメリカとメキシコへの2度の留学でも、授業や課題にも抵抗なく取り組むことができました。GSPでは学内の留学生と授業を共にするため、異なる意見を取り入れ、自分の主張を発信する力を磨くこともできました。授業以外ではチャットルームやコーヒーミーティングにも参加し交流を深めました。

大学卒業後の現在は、外資系の家電メーカーでブランドマーケティングを担当しています。英語を使用する業務ではもちろんですが、特に自信を持って英語でプレゼンテーションするスキルは、GSPでの学びが直接生かされていると感じています。GSPで学んでいる皆さんは課題に追われて大変なこともあるかもしれませんが、「自分がこうなりたい」と思う姿を目標にして、頑張ってください。

ARD German Televisionより、国際政治経済学部のゼミが取材を受けました



国際政治経済学部国際政治学科で「日本とアジアにおける政治的発展」を学んでいる本ゼミナール(ゼミ)の学生と、押村高教授のゼミ有志3名による合同ゼミが、ARDの報道番組の取材を受けました。

ARDはドイツの公共放送の一つで、米朝首脳会談といった世界情勢をふまえて、国際政治を学ぶ日本の学生の考えや意見として本学が取材を受け、放送されました。ゼミではテーマを受けてグループで討論し、時に番組の記者が学生と意見交換を行うなど、終始英語で活発な討議が展開され、有意義な時間となりました。今回の取材内容は学生からとても好評でした。世界的にも重要な外交問題を議論できる機会をいただいたことに感謝いたします。

2018年6月5日(火) 青山キャンパス17号館 17405教室にて
(国際政治経済学部 国際政治学科准教授 James Patrick Boyd 記)

「母の日」カーネーションプレゼント企画を開催

3人の女性宣教師によって「母の日」を初めて日本に広めた青山学院と、国内有数のカーネーションの産地である静岡県賀茂郡河津町。カーネーションが青山学院と河津町を結び、2017年2月に本学と河津町は、連携協力に関する協定を締結しました。「母の日」を2日後に控えた5月11日(金)、昨年に続き今年も本学に色鮮やかなカーネーションが、河津町から届けられました。

青山キャンパスのメインストリートにはたくさんのカーネーションが飾られ、イベントには三木義一学長も参加し、学生たちはカーネー



ションの写真を撮ったり、プレゼント用に摘み取ったりと笑顔の絶えない時間を過ごしました。

対東北学院大学総合定期戦報告

2018年6月2日(土)から6月4日(月)までの3日間にわたり、第69回対東北学院大学総合定期戦を本学にて開催しました。

初日は朝早くから八景島でヨット競技、千葉国際カントリークラブでゴルフの試合が行われました。青山キャンパスガウチャー記念礼拝堂での開会式後は、青山学院記念館(大学体育館)＜以下記念館＞でレスリング、柔道、フェンシングが行われ、力のこもった白熱した試合となり、ハンドボールではスピード感あふれる試合で、一進一退の攻防が展開されました。また、町田グラウンドでは軟式野球、相模原キャンパス

では洋弓の試合があり、攻防の移り変わりの早さなど、緊張感あふれる試合が続きました。

2日目は緑が丘グラウンドで硬式庭球部、ラクロス部(女子)が、記念館ではバレーボール部(男子・女子)の気迫のこもった試合が行われました。中庭では吹奏楽バトントワリング部バトンパートと東北学院大学チアリーディングチームの合同演技、ガウチャー記念礼拝堂ではバンドパートと東北学院大学シンフォニックウィンドアンサンブル(SWE)の交歓演奏会も行われました。

最終日には北区赤羽スポーツの森公園競技場でラクロス部(男子)が、中庭では応援団によるリーダー公開が行われ、定期戦を華やかに盛り上げました。

総合成績は本学35点、東北学院大学13点で、本学が総合優勝となりました。全競技白熱した今回の定期戦でしたが、来年度は東北の地に赴き、優勝盃を持ち帰るとともに、両校の友情がより一層深まることを願っています。



スポーツマネジメントセミナーを開催

2018年6月13日(水)、青山キャンパス17号館本多記念国際会議場にて「スポーツビジネスの潮流～求められる人材とは～」というテーマでスポーツマネジメントセミナーを開催しました。2部構成で、さまざまなスポーツ分野で活躍されている方々をお招きしての講演会・事例紹介が行われた後、パネルディスカッションを行いました。

講演会は、原晋監督(青山学院大学陸上競技部(長距離ブロック))、戸谷且典氏(有限責任あずさ監査法人 KPMG Japan)、本田祐嗣氏(公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会)、小田美枝子氏(駐日英国大使館)、Andrew Hore氏(ニューサウスウェールズ・ワラターズ ラグビーユニオン)、尾上健二氏(株式会社NTTドコモ)に登壇いただきました。その後、「スポーツビジネスの未来」というテーマ

でパネルディスカッションが行われ、コーディネーターに土屋光輝氏(有限責任あずさ監査法人 KPMG Japan)を迎え、それぞれの立場、文化、経験からお話しいただき、活発な意見交換がありました。

ご登壇の皆さまの貴重なお話を伺うことができるとても有意義なセミナーとなりました。



「大学連携'18イベント Tokyo 2020 学園祭 the 2nd」を本学で開催

本学は東京2020組織委員会と共催して、2018年6月23日(土)に青山学院記念館(大学体育館)にて、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会大学連携'18イベント Tokyo 2020 学園祭 the 2nd」を開催しました。6月23日はオリンピックデーおよび東京2020組織委員会と全国の大学・短期大学との連携協定締結がスタートした

日でもあり、この日を記念して開催されました。

メインイベントの「連携大学王決定戦」では全国から21大学26チームが参加しました。○×クイズ、3人制のバスケットボールの試合などが行われ、白熱した大会となりました。本学からは新聞編集委員会と応援団が健闘し、結果は残念ながら予選敗退でしたが、学生たちは楽しんで参加していました。閉会式では押村高副学長がプレゼンターとして優勝チームの表彰を行い、盛況のまま幕を閉じました。

本学の学生ボランティア協力のもと運営が行われるなど、学生たちの活躍、参加があつてのイベントとなり、東京2020組織委員会と連携大学が協力できた良い機会となりました。これからも東京オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げていけるよう、本学として協力を続けていきます。



AGU Lecture 089



現代演劇の〈現場〉／〈プロジェクト〉としての演劇

竹内 孝宏

総合文化政策学部 総合文化政策学科教授

当ゼミナール(ゼミ)では、文化基礎演習として、前期は商業演劇と小劇場を、後期は国の公的助成をテーマに学びます。具体的には、前期はゼミのタイトルである「現代演劇の〈現場〉／〈プロジェクト〉としての演劇」にふさわしいテキストを読んでいくというやり方です。先日はある小劇団の物語、有川浩の小説『シアター!』を取り上げました。宝塚歌劇団をテーマとすることもあります。後期は、なぜ国が芸術・文化活動に公的助成の手を差し伸べる必要があるのかを原理原則から考え、実際に助成金の申請書を書く作業まで行います。ゼミには芸術、文化活動に興味のある学生が多く、ダンスやバレエ、演劇などを実際に身体表現として現在も行っている、または過去に行っていたという学生が少なくないですね。

当ゼミのみならず総合文化政策学部で演劇について学ぶときのポイントは、まずはクリエイティブな要素とマネジメントに関わる要素が重なり合う部分をできるだけ見逃さないようにしていく、ということでしょう。また、演劇に対するアプローチはさまざまです。総合文化政策学部では、できあがった舞台を対象物として見る「オブジェクト志向」や、自分が演じるなど主体的に関わる「サブジェクト志向」というよ

り、自ら企画立案し、実行し、評価し、検証するというプロセスを踏む「プロジェクト志向」で演劇を捉えることが重要だと考えています。

演劇は、多彩なジャンルの人々が集まり創り上げられることが、魅力の一つです。従って、演劇の現場について理解を深めることは、実は文化を学ぶ良いレッスンにもなっているわけです。ですからこのゼミで学ぶ学生が、3年次にどのようなゼミを選択したとしても、きっとこのゼミで学んだことが役立つでしょう。

総合文化政策学部は今年で創設10周年となり、教員自身も気付いていない学部の可能性をそろそろ発掘していく時期になったと感じています。他方、学生たちは年々まじめになっていっているという印象を強く持ちます。まじめであることも大切ですが、学生のうちはもっと自由に、恐れず「壮大な失敗」をしてほしいと強く言いたいですね。学生のうちは大きな失敗をいくつしてもいいのです、そのためにわれわれ教員がいるのですから。むしろ失敗を恐れない勇氣と若干のユーモアを忘れずにいることこそ大切です。ただし、壮大な失敗のためには頑丈な基礎となる土台が必要になります。当ゼミはまさにその土台をつくるところなのです。



竹内ゼミ学生
福井 みゆうさん
総合文化政策学部
総合文化政策学科2年
神奈川・私立横浜雙葉
高等学校出身

中学・高校の部活で音楽部に所属し、毎年文化祭でミュージカルを公演していました。演者として舞台上に立っていたのですが、高校2年で舞台の脚本・演出・指導を担当し、舞台を作り上げていく楽しさを知りました。裏方の世界に興味があわさ「もっと知りたい」という思いを抱き、総合文化政策学部に入學しました。所属しているミュージカル系のサークルの先輩に「竹内ゼミは面白くて絶対に後悔しないよ」とすすめられたのも、私がこの竹内ゼミを選んだ理由の一つでした。ゼミでは幅広く演劇について学べることもあり、迷わず選びました。実際に学び始めてからは、演劇を公演するためにどれだけの人が関わり、資金が必要かなど、これまで知らなかったことを知識として得る楽しさがあります。

現在、興味があるのは音楽イベントの運営や、ライブの演出です。将来は演劇や舞踏など、舞台芸術の演出やマネジメントといった裏方の仕事ができれば良いなと思っています。竹内ゼミは、とにかく先生のユニークさが最大の魅力です。マネジメント的な要素も多いですし、舞台芸術に少しでも興味のある人なら間違いなく楽しく学べるゼミだと思います。

夏期休業期間中の窓口案内 対象期間 8/3(金)～9/13(木)

原則以下の通り窓口を閉室します。

- 8月6日(月)～8月12日(日) (一斉休業期間)
- 8月15日(水)、8月22日(水)、8月29日(水)
- 土曜日・日曜日・祝日

※以上の日程以外にも、部署により閉室する場合がありますので、本学ウェブサイトでご確認ください。9月14日(金)より平常通り開室します。

夏期休業期間中の
窓口案内の詳細は

本学
ウェブサイト
をご覧ください。

2018年度 保証人の方対象説明会

本学では、大学後援会事業の一環として、在学生の保証人の皆さまに大学の近況をお伝えし、学生の皆さんの成績・進路・就職などについてのご相談やご意見を伺うために、経験豊かな大学教職員による説明会や個別相談などのイベントを開催しています。保証人の皆さまにより一層本学のことを知っていただく機会となっています。

キャンパス開催実施状況報告

1～3年生の保証人の皆さまを対象としたペアレンツウィークエンドは、5月26日～6月23日の土曜日に各キャンパスで開催しました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。学業・就職説明会では、各担当職員が詳細に説明し、さらに質問がある方は個別相談にご参加いただきました。1年生の保証人の方対象

のキャンパス見学会では、パイプオルガンコンサート、ボランティア学生によるキャンパスツアーも盛況で、ご満足いただけたようです。

ペアレンツウィークエンド(地区父母懇談会)

6～7月に全国18カ所で開催しました。ご来場いただきありがとうございました。全体説明会・懇談会・個別相談を通して、保証人の皆さまと意見交換ができ、有意義な内容となりました。

問い合わせ先

庶務部庶務課 TEL : 03-3409-8568
<https://www.aoyama.ac.jp/life/parents/parentsweekend/>
 ※夏期休業期間中の事務取り扱いには本学ウェブサイトでご確認ください。



就職説明会



個別相談



キャンパス見学会

2018年度 公開講座

本学では、地域社会への貢献という使命から、大学における教育および研究の成果を広く社会に開放する公開講座を開催しています。各キャンパスでさまざまなテーマの講座を用意して皆さまのご参加をお待ちしております。



青山キャンパス

9/15・9/22・10/6・10/13・10/20 土曜日	全5回	続と税をめぐる諸問題*
11/10～12/8 (予定)	毎週土曜日	全5回 台湾の歴史と社会*

- 受講料 無料
詳細につきましては、本学ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/extension/>
- 問い合わせ先 庶務部庶務課 公開講座担当 TEL : 03-3409-7955

相模原キャンパス(市民大学青山学院大学コース)

10/13～11/17 毎週土曜日*	全5回	情報社会を豊かに生きる—社会情報学の挑戦
--------------------	-----	----------------------

- 対象 原則として相模原市・座間市に在住か通勤または在学の15歳以上の方(該当者を優先します)
- 申込期間 9月1日(土)～9月14日(金)
- 受講料 1,300円
- 問い合わせ先 さがまちコンソーシアム事務局 TEL : 042-703-8550

大学学費 後期納付のご案内(学部) ※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください。

【納付期限】 10月1日(月)

1) 振込依頼書について

- a. 2017年度以前入学生
4月中旬にお送りした学費振込依頼書の「B後期分」をご利用ください。なお、教職・各種資格課程を申請した方は納入金額に変更が生じています。該当者には7月19日(木)に金額変更済みの振込依頼書を送付しました。
- b. 2018年度入学生
①入学手続き時に前期分の学費を納入された方
7月19日(木)に後期分の学費振込依頼書を送付しました。教職・各種資格課程を申請した方には、後期学費に課程料を加算しています。

- ②入学手続き時に前後期分の学費を一括納入された方
教職・各種資格課程を申請した場合、課程料の振込依頼書を7月19日(木)に送付しました。記載金額をお振り込みください。

2) 納付にあたって

入金確認のため、送付された学費振込依頼書を用いて、金融機関の窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を希望される場合は、学費振込依頼書と同封の案内文に記載されている注意書きに従って手続きしてください。

3) 延納について

学生ポータルに掲載しています。

4) 学費に関するご相談・お問い合わせ

振込依頼書裏面記載の《ご相談・お問い合わせ先》にご連絡ください。

4年次において留年した学生の後期分学費等納付について

4年次で留年した場合、履修登録単位数によって学費が異なります。振込依頼書は10月18日(木)発送予定です。

【納付期限】 11月9日(金)

① 後期履修申請単位数8単位以下の場合

後期在籍基本料 +
 後期授業料(後期授業料×1/2+履修単位数(『後期科目』)×単位数) +
 後期諸会費

② 後期履修申請単位数が9単位以上の場合(後期上限金額に達するため、後期所定の学費となります)

後期在籍基本料 + 後期授業料 + 後期教育活動料 + 後期諸会費

※2011年度以前入学生は計算方法が異なりますので、お問い合わせください。
 ※再入学をした方は計算方法が異なる場合がありますので、お問い合わせください。

問い合わせ先

振込依頼書再発行 青山キャンパス学費・奨学金課 TEL : 03-3409-7945 相模原キャンパス学生生活課 TEL : 042-759-6004
 納入必要予定額の確認 庶務部庶務課 TEL : 03-3409-6479

AGU
PICK UP

2019年4月 相模原キャンパスに開設予定 —地域を活かし、地域で生きる、実践知。—

コミュニティ人間科学部 (収容定員増 認可申請中)

多様な実習により現場で役立つ知恵(実践知)を修得し、コミュニティ創造をリードできる人材を養成します。

1 地域活動の基礎的な理解を深める

2 地域活動を体験する

3 地域づくりの基礎を学ぶ

4 能動的な学習や研究の姿勢を身につける

5 専門的な資格につなげる

教育の特色

実践知を育むカリキュラム体系

- 子ども・若者活動支援プログラム
- 女性活動支援プログラム
- コミュニティ活動支援プログラム

演習科目(必修)

- コミュニティ資源継承プログラム
- コミュニティ創生計画プログラム

資格関連科目

学部英語科目(英語多読科目、英語表現科目)
青山スタンダード科目

学部基礎科目(必修)

コミュニティ創造論・地域学習社会論・コミュニティ社会学原論・地域行政原論

研究理解科目(必修)

卒業後の進路

◎公務員 ◎独立行政法人 ◎財団法人・社団法人・NPO・公共施設 ◎地域に密着した企業 ◎社会教育主事・図書館司書・アーキビスト・博物館学芸員 等

※詳細につきましては、大学ウェブサイトやパンフレットを通じて、順次お知らせします。

コミュニティ人間科学部オリジナルサイト

<http://www.ccs.aoyama.ac.jp/>



第25回 青山学院大学同窓祭

AOYAMA GREEN FESTIVAL 2018

2018年 9月23日(日・祝) 9:00~16:30 @青山キャンパス どなたでも無料でご入場いただけます!



会場内での買い物やイベントに参加される際は、「イーゴ券」が必要となります。

前売 2,000円 (1イーゴ20枚綴り・ハッピー・チャンス!!くじ引き券1枚付き)

当日売 1,000円 (1イーゴ10枚綴り・ハッピー・チャンス!!くじ引き券なし)

プログラム

- 開会礼拝 ●オープニングパレード ●公開講座 ●青山寄席 ●ゴールデン&シルバージュビリー記念式典・懇親会 ●出店 ●教室イベント
- 体育会陸上競技部応援ステージ ●オール青山 学校案内プログラム ●ふわふわイーゴくん 他

開会礼拝(主日礼拝) 9:15~10:00 会場: ガウチャー記念礼拝堂

公開講座・講演会

11:00~

公開講座 | 化学・生命科学科「賢く使おう、ジェネリック医薬品!」

講師: 荻原 琢男氏(高崎健康福祉大学 大学院教授) 会場: 17号館3階 17308教室

英米文学科同窓会20周年記念講演会 | 「世界詩としての能と俳句」

講師: 高橋 睦郎氏(詩人、文化功労者、日本芸術院会員) 会場: 総研ビル12階大会議室

14:00~

公開講座 | 神学科「誰もが力いっぱい生きられるために~ヘイトスピーチの根絶へ。ともに。~」

講師: 崔 江以子氏(川崎市ふれあい館副館長) 会場: 17号館3階 17301教室

公開講座 | 国際マネジメント研究科「講演&アイデアソン!デジタルマーケティングについて考えよう!」

講師: 進藤 美希氏(東京工科大学教授) 会場: 17号館3階 17307教室

経済学部同窓会×経済学会共催特別記念公開講演会 |

「急変する中国と日本そしてアジアは」(仮題)

講師: 富坂 聡氏(拓殖大学 海外事情研究所教授) 会場: 17号館5階 17511教室

目指せ 箱根駅伝 5 連覇!
体育会陸上競技部
応援ステージ



15:30~16:30 会場: アイビーステージ
箱根駅伝4連覇を達成した大学陸上競技部(長距離ブロック)の原晋監督とメンバーたちが登場。応援団やチアリーダーと一緒に応援しましょう!

青山学院大学同窓祭(AOYAMA GREEN FESTIVAL)の詳細はウェブサイトをご覧ください!

<http://aogaku-doso.jp/>



問い合わせ先▶青山学院大学同窓祭事務局

【月・水・金 10:00~16:00】 TEL:03-3409-8990

※祝日を除く

主催: 青山学院校友会大学部会 協力: 青山学院校友会、女子短期大学同窓会、高等部同窓会、中等部緑窓会、初等部くすのき会、幼稚園いとすぎの会

Club & Circle 40 課外教育プログラム 外国人留学生会

学内での国際交流は、視野を広げる良いきっかけに。

私たちは「AOMO 留学応援グループ」「中国人留学生会」「韓国留学生会」の3つのグループに分かれ、活動をしています。私が会長を務める「AOMO 留学応援グループ」は、主に留学に関するセミナーや、国際交流イベントの企画運営などを行っています。「中国人留学生会」「韓国留学生会」は、各国出身の留学生が、履修登録や就職活動、日常生活までの留学生サポートや、バスケットボール大会など他大学との交流会を行っています。

外国人留学生会は2017年度に発足したばかりで、昨年は新留学生を迎えるウェルカムパーティを初めて開催しました。どうすれば参加者に楽しんでもらえるのか、メンバーと話し

合いを重ね、学生生活課やアイビーホールのスタッフの方々のご協力もあり、多くの参加者にご満足いただけたようです。「楽しかった」「また次回も参加したい」等の声をいただき、大変嬉しく感じました。この経験を通して国際交流活動に、より自信を持つことができました。

国籍や出身学部を問わず、多くの学生と交流ができることは魅力であり、私たち自身の視野を広げるとても良いきっかけとなっています。ぜひ、たくさんの方に知っていただき、開催するイベントやセミナーにも足を運んでいただければ嬉しいです。

(「AOMO 留学応援グループ」会長: 文学部 英米文学科3年 丹治 祥子 記)



AGU NEWSについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGU NEWS」を発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。

●バックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。

●確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、学生本人が変更手続きをしてください。



●2018年7月31日発行●

発行元: 青山学院大学 政策・企画部 大学広報課 TEL: 03-3409-8159 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます。©2018青山学院大学 本誌に登場する人物の在籍年次や役職、所属や身分などは、原則取材時のものです。